

「7月15日バロックチェロ デュオ コンサート」 関連企画

チェリスト 富田牧子の

おはなしコンサート at 憩の森

ガット弦のチェロの魅力

おはなしコンサートシリーズ

チェロという楽器を通して西洋音楽の歴史を辿る、おはなしコンサート。1600年代後半に北イタリアで誕生したこの楽器が、多くのチェリストの活躍によってヨーロッパ各地に広がり発展した1900年頃までの作品を時代背景と音楽との関わりに触れながら、毎回少しずつご紹介いたします。今回は7月15日バロックチェロ デュオコンサートでの演奏曲に関するお話も。イタリアのバロックから、J.S.バッハ、フランショーム(ショパンの友人)などを取り上げます。

ガット(羊腸)弦を張ったチェロで弾く、オーガニック(有機的)な音楽

ガット弦は20世紀の初めまで一般的に使用されていました。現代多く使われているスチール弦に対し、天然素材であるガット弦は、倍音成分を多く含み、自然界の音のように抑揚や陰影に奥行きがあり、凹凸のある表現が可能です。近代以降、音楽はより大きな音と均一性を求めて発展しましたが、今私たちが必要としているのは、有機的なもの、生命あるものに触れることではないでしょうか。弦の羊腸、弓の馬尾毛、そして木。生命あるものから生まれた楽器と一緒に呼吸して、新たな息吹が与えられる音楽を、間近で体感してみませんか。

2023年 8月6日 [日] 15:00開演 [14:45開場] 休憩あり1時間半

Gallery&CAFE 憩の森 [松本市城山11-17]

限定25名 要予約 *ワンドリンク付き

一般 3,000円 [7月15日コンサートチケットご購入の方500円割引]

大学生 2,000円 高校生以下 1,000円 未就学児無料3名まで (ドリンクご希望の方300円)

主催/ご予約: MA企画 kikaku_ma@yahoo.co.jp [前日18時まで]

★駐車場案内★

コンサートに車でご来場の際は、隣接の城山公園の駐車場をご利用ください。

富田牧子 Makiko Tomita, Cellist

バロックと現代のスタイルの楽器にガット(羊腸)弦を張り、楽曲に合わせて持ち替えながら、自然体の音楽と室内楽の楽しさを広める活動をしている。東京芸術大学音楽学部在学中にリサイタルを行い演奏活動を始める。同学大学院修士課程修了後ハンガリー・ブダペストに留学。ヨーロッパ各地の音楽祭や講習会でソロと室内楽の研鑽を積む。NHK-FM、ORF(オーストリア放送)の公開録音に出演。弦楽四重奏団メンバーとしての活動を経て、フリーの音楽家としてソロリサイタルや様々な楽器奏者との組み合わせによる「充実した内容の音楽を間近で味わうコンサート」の企画を各地で続けている。2017年パーカッションとのデュオ《羊とヤギ》でCD「O Terra (大地よ)」を発売。2020年長野県に移住し、県内での活動を積極的に展開中。